

岩水開発 地盤に合った液状化対策工法 注目の「セミウォール工法」

2011年に発生した「東日本大震災」で液状化発生による大きな被害が生じたことは記憶に新しいことです。岡山県でも特に瀬戸内海沿岸部では液状化発生が懸念され、今年3月8日には岡山県から南海トラフ巨大地震による震度分布、液状化危険度分布が発表されま

した。このような中、液状化対策工法が大きな注目を集めています。岩水開発株式会社は、安心な住宅づくり貢獻するため、従来から軟弱地盤対策工法を施工しています。地盤条件に応じたこれらの工法(セミパイル工法、GSパイル工法、ジオスラブ工法)を

採用すれば、万が一、液状化が発生したとしても大きな不同沈下は発生しません。家と地面の間を同時に施工することで、低価格を実現していま

した。このような中、液状化対策工法が大きな注目を集めています。

岩水開発株式会社は、

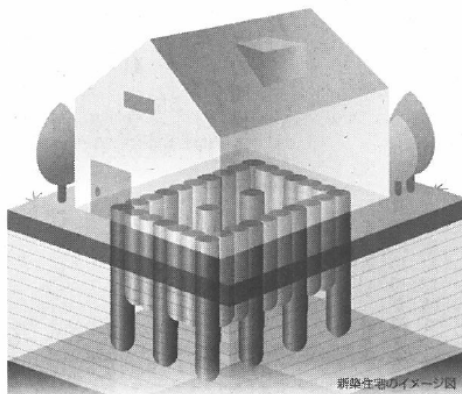
に段差ができる場合があります。そこで家の下では液状化を発生させない、液状化防止工法として「セミウォール工法」を開発しています。

これは従来の柱状改良の技術を用い、家の下に改良体で格子をつくり、

地盤の変形を抑止する(こ)とで液状化発生を防止する工法です。新築時に従来の不同沈下防止工法と

同時に施工することで、

低価格を実現していま



新築住宅のイメージ図

液状化を防止する「セミウォール工法」

す。また、同様の工法は千葉県浦安市の液状化対策工法として選定されており、高い信頼性も自慢です。

また、既存家屋への対策工法は薬液注入工法で同等の効果を期待することができません。液状化発生の有無は、地盤条件、地下水位、地震の大きさにより変わってきます。まずは一度ご相談してはいかがでしょうか。



5月26日

日曜日

発行所

山陽新聞社

岡山市北区柳町2-1-1

新聞製作センター

岡山市北区新築敷町1-1-13